

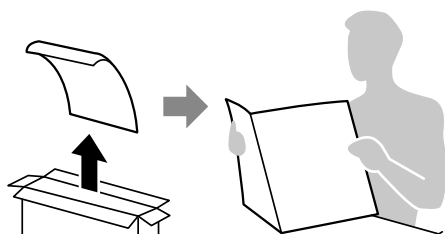


4K有機ELテレビ

取扱説明書・保証書(裏表紙)

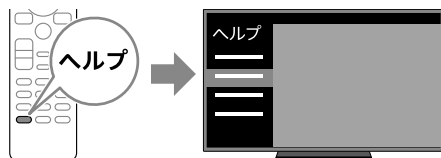
組み立て／設置ガイド

テレビのカートン(箱)上部にあります。



電子取説(ヘルプガイド)

リモコンのヘルプボタンから、より詳しい本機の使いかた／困ったときの対処方法を表示できます(4 ページ)。



BRAVIA

警告 安全のために

→ 37～42 ページもあわせてお読みください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

「安全のために」(37～42 ページ)のご注意をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」(36 ページ)の症状がないかを点検してください。

内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着する場合がありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落したり、キャビネットを破損したりしたときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーご相談窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破壊などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止




接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

重要 - 本製品の使用を開始される前に必ず、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト (<https://www.sony.net/tv-software-licenses/>) または本製品画面(クイック設定ボタンを押して、 (設定) - [システム] - [デバイス情報] - [法的情報] - [ソフトウェアに関する重要なお知らせ]) でご覧いただけます。

ご同意いただけない場合には、直ちに許諾ソフトウェア・本製品の返品・返金の手続きについて弊社にご連絡ください。

目次

ページ番号をクリックすると、該当ページにジャンプすることができます。

テレビを見るための準備 組み立て／ 設置ガイド.....(別紙)	
マニュアルについて.....	4

各部のなまえ

各部のなまえ(テレビ本体／接続端子／ リモコン).....	5
画面を保護してお使いいただくための ご注意.....	10

テレビを見る／基本の使いかた

Google アカウントにログインすると できること.....	11
テレビやコンテンツを楽しむ.....	11
BS4K放送や110度CS4K放送を視聴する.....	13
ホームメニューを使う.....	15
テレビの設定を変える(クイック設定).....	16

録画する

USBハードディスクに録画する.....	17
----------------------	----

他機器をつなぐ

サウンドバーシステムなどをつなぐ.....	19
BDレコーダーやゲーム機をHDMIケーブル などでつなぐ.....	21
ブラビアリンク機能を使う.....	22

ネットワークにつなぐ

ネットワークにつなぐ.....	24
音声でコンテンツを検索する.....	25

困ったときは

故障かな?と思ったら.....	27
保証書とアフターサービス.....	34
ソニーの相談窓口のご案内.....	35

安全のために／その他

安全のために.....	37
使用上のご注意／お手入れ.....	43
再設置／テレビを壁に取り付けて使う.....	45
チャンネル設定をやり直す.....	46
別売カメラ・マイクユニットのケーブル マネジメント.....	46
転倒防止用ベルトを取り付ける.....	47
主な仕様.....	48

索引.....	51
---------	----

保証書.....	裏表紙
----------	-----



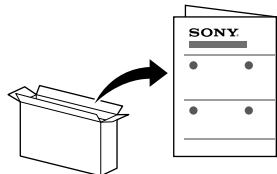
電子取説(ヘルプガイド)では、この取扱説明書より詳しく、
使いかたを説明しています(4 ページ)。

ソフトウェアのアップデートなどにより、画面デザイン、メニュー構成、および仕様は改良のために予告なく変更することがあります。最新情報については、ソニーのサポートサイトをご覧ください。

マニュアルについて

組み立て／設置ガイド

テレビのカートン(箱)の上部にあります。
テレビの組み立てから、設置・接続して、電源を入れるまでを説明しています。



取扱説明書(本書)

テレビの基本的な使いかたを説明しています。
記載内容については、本書の目次をご覧ください。



電子取説(ヘルプガイド)

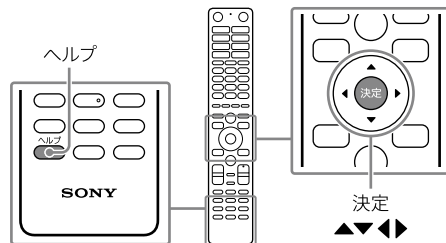
ヘルプガイドは、本機の使いかたを本書よりも詳しく説明している画面で見るマニュアルです。
最新情報はオンライン版ヘルプガイドをご覧ください。



ヘルプガイドをテレビで見するには

リモコンのヘルプボタンを押すとヘルプ画面が表示されます。

▲▼◀▶ (上下左右) ボタンで
[電子取説(ヘルプガイド)] を選び、決定ボタン
を押します。



ヒント

- 本機をインターネットにつなぐと(24 ページ)、最新のヘルプガイドをご覧ください。
Bluetooth®機器のつながりかたやスマートフォンの画面をテレビに表示する方法など、他機器との接続について詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

パソコンやスマートフォン、タブレットで見するには

ブラウザのアドレス欄にURLを入力するか、
二次元コードを読み込んでください。
<https://rd1.sony.net/help/tv/ljp1/ja/>



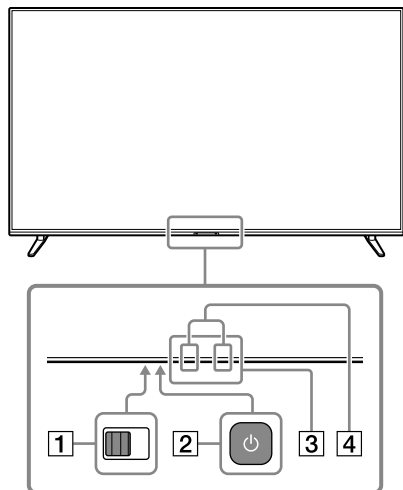
ヒント

- マニュアル類は、下記のサポートサイトからご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/products/xr80/manual.html>



各部のなまえ(テレビ本体／接続端子／リモコン)

テレビ本体



1 本体マイクスイッチ

本体マイクのオン／オフを切り換えます。

2 電源ボタン

電源を入れるときに押します。電源を切るときは長押しします。

電源が入っているときは、電源ボタンで音量を調節したり、チャンネルを切り換えたりできます。電源ボタンを押すたびに調節できる項目が切り換わりますので、画面を見ながら操作してください。

ご注意

- 電源ボタンでは電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

3 ランプ(LED)／リモコン受光部／明るさセンサー

リモコンの操作やテレビの状態に応じて点灯または点滅します。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- ランプ(LED)の付近にリモコン受光部や明るさセンサーがあるため、前に物を置かないでください。

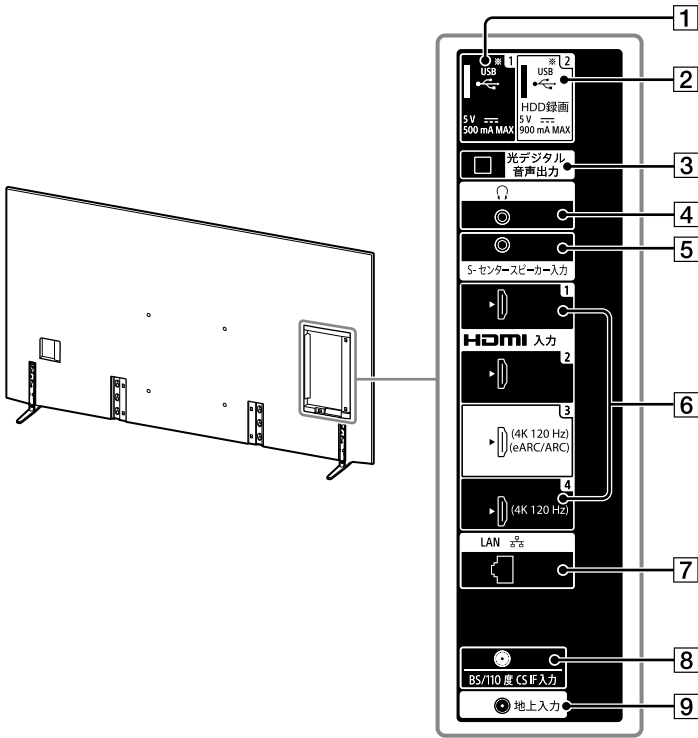
4 本体マイク

リモコンを使わなくても、ハンズフリーで Google アシスタントを使って音声でテレビの操作やエンターテインメントの検索などを行えます。

ご注意

- 本体マイクが有効のときは、テレビが電源スタンバイ時でも常にマイクが聞き取り可能な状態になるため、待機消費電力が増えます。
- 本体マイクを使うには Google アカウントへのログインが必要です(11 ページ)。

接続端子



1 USB 1端子

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真／音楽／ビデオなどを楽しめます。USBハードディスクをつないでも録画はできません。

2 USB 2 HDD録画端子(青)

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真／音楽／ビデオなどを楽しめます。USBハードディスクをつなぐと、デジタル放送の録画もできます。

3 光デジタル音声出力端子

別売の光デジタルケーブルでオーディオシステムやホームシアター機器などの光デジタル音声入力端子につなぎます。

4 (ヘッドホン)端子

ヘッドホンをつなぎます。テレビのスピーカーとヘッドホンから同時に音を出すには、ヘッドホンをつないだ状態でリモコンのクイック設定ボタンを押し、[音声出力]－[スピーカー出力]－[テレビスピーカー]を選びます。

ご注意

- (ヘッドホン)端子には3極のステレオミニプラグをつないでください。

⑤ S-センタースピーカー入力端子

テレビのスピーカーをオーディオシステムの一部として使う場合に使用します。詳しくは20 ページをご覧ください。

⑥ HDMI 1、2、3、4入力端子

BDレコーダー／プレーヤーなどのHDMI端子につながります。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は、デジタル映像／音声入出力インターフェース規格です。HDMI端子のあるAV機器と接続できます。サウンドバーシステムなど音声機器をつなぐには19 ページを、BDレコーダーやゲーム機など映像機器をつなぐには21 ページをご覧ください。

HDMI 3 eARC/ARC (Enhanced Audio Return Channel/Audio Return Channel)

eARC/ARCに対応したオーディオシステムと接続する場合は、HDMI 3入力端子につながってください。eARC/ARCとは、HDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI入力端子からオーディオシステムに送る機能です。オーディオシステムがeARC/ARCに対応していない場合は、光デジタル音声出力との接続も必要です。

ご注意

- eARCで接続する場合は、イーサネット対応のHDMIケーブルを使用してください。

HDMI 3、4入力端子(4K 120p対応)

4K 120pの映像出力に対応した機器のHDMI端子につながります。詳しくは21 ページをご覧ください。

⑦ LAN端子

別売のLANケーブルでルーターにつないで、テレビをネットワークに接続します。

⑧ BS/110度CS IF入力端子

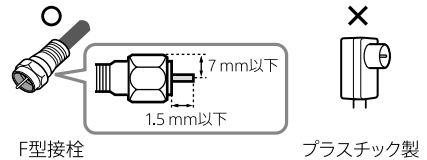
衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15 Vの直流電圧が出ています。分波器につながっている地上デジタル用のアンテナケーブル、または地上デジタル用のアンテナに直接つながっているアンテナケーブルには絶対につながりません。

⑨ 地上入力端子

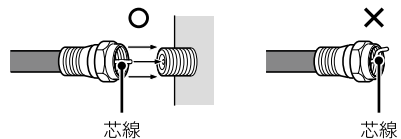
地上デジタル用アンテナケーブルや、ケーブルテレビからの同軸ケーブルをつなぎます。

アンテナ接続について

- プラスチック製アダプターは、ノイズが入る可能性があるため、F型接栓をご使用ください。

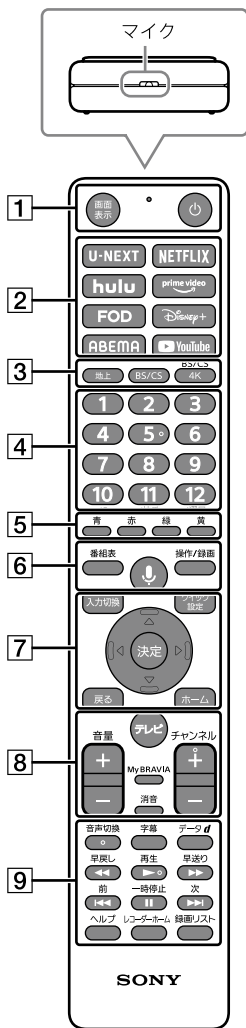


- アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。



- アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBS/110度CS放送に対応していないと、BS/110度CS放送は受信できません。有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、4K放送(左旋放送)に対応した衛星アンテナと分配器やブースター、分波器などの受信システム機器(3224 MHz対応)が必要です。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

リモコン



1 画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示／非表示を切り換えるときに押します。

ご注意

- 常に時計を表示するには、クイック設定ボタンを押して、**設定**－[システム]－[日付と時刻]－[自動時計表示]を[入(常に表示)]に設定してください。

ランプ(LED)

Google アシスタント／マイクボタンを押し、マイクが有効になると点灯します。

電源

2 U-NEXT、Netflix、Hulu、Prime Video、FOD、Disney+、ABEMA、YouTube™

各種サービスに切り換えるときに押します。

3 放送切換ボタン(地上、BS/CS、BS/CS 4K)

放送波を切り換えるときに押します。

4 数字ボタン

チャンネルを切り換えたり、数字を入力するときに押します。

電源スタンバイ時に数字ボタンを押すと、電源が入ると同時に選んだチャンネルを表示できます(チャンネルポン)。

5 カラーボタン(青、赤、緑、黄)

各色のボタンに対応する機能を選ぶときに押します。

6 番組表

放送局が送信する番組情報を表示するときに押します。

ご注意

- 番組表にはBS8K放送の番組が表示されますが、本機では、これらの番組の視聴はできません。

Google アシスタント／マイク

映画の検索、音楽の再生、テレビの操作などを声で行うときに押します。

この機能を使用するには、Google アカウントへのログインが必要です(11ページ)。

操作／録画

選択している入力に応じた操作メニューを表示するときに押します。

テレビを視聴中は、見ている番組の録画や3桁のチャンネル番号の入力などができます。

7 入力切換

テレビの入力一覧やよく使うアプリを表示します。

ご注意

- 機器が接続されていないときは、入力切換にHDMI入力が表示されない場合があります。

クイック設定

テレビの設定を変えるときに押します。

▲▼◀▶ (上下左右)、決定

▲▼◀▶ (上下左右) ボタンで画面上の項目を選び、決定ボタンで選んだ項目を決定します。

戻る

前の画面に戻ります。

ホーム

ホームメニューを表示するときに押します。

8 テレビ

テレビ放送に切り換えるときに押します。電源スタンバイ時にテレビボタンを押すと、電源が入ると同時にテレビ放送を表示できます。

またテレビメニュー (11 ページ) を表示します。

音量+ / -

音量を調節するときに押します。

チャンネル+ / -

チャンネルを切り換えるときに押します。

My BRAVIA

My BRAVIAに切り換えるときに押します。

消音

音を消したいときに押します。もう一度押すと、音声が出ます。

ヒント

- 消音ボタンを長押しすると、読み上げなどのユーザー補助機能のオン/オフを切り換えることができます。

9 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)に切り換えるときに押します。

字幕

字幕を第一言語→第二言語→切の順に切り換えるときに押します。

ご注意

- 第二言語が運用されていない番組は第一言語と同じ字幕が表示されます。

データ d

番組と連動しているデータ放送を表示するときに押します。

早戻し / 再生 / 早送り / 前 / 一時停止 / 次

ブラビアリンク対応の録画機器やUSBハードディスクを操作するときに押します。

ご注意

- USBハードディスクに録画した番組を再生するときは、チャプターがないため前/次ボタンは使えません。早戻し/早送りボタンを使ってください。

ヘルプ

本機の情報や困ったときの対応方法を確認するとき、電子取説(ヘルプガイド)を表示するときに押します。

レコーダーホーム

HDMIで接続しているBDレコーダーのホームメニューを表示するときに押します。

録画リスト

録画した番組の一覧を表示するときに押します。

ご注意

- 状況や設定により使えるボタンや機能は変わります。
- テレビの機種によりリモコンの形状やボタン配置が異なることがあります。

ヒント

- ▶ (再生) ボタン、音声切換ボタン、数字ボタンの[5]、チャンネル+ボタンには凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

画面を保護してお使い いただくためのご注意

長時間同じ表示を続けたり、くり返し同じ表示をすると、画面に焼き付き(残像)が発生することがありますが、この症状は故障ではありません。

画面を保護するため、焼き付きが発生しやすい画像をできるだけ避け、注意事項を守りお使いください。

焼き付きについて

一般に、有機ELディスプレイは、その高精細な画像を得るために採用している材料の特性上、焼き付きが起こることがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、くり返し表示したりすると、焼き付いた画面を元に戻せなくなります。

焼き付きが発生しやすい画像の例

- 上下に帯が表示されるワイド画像(レターボックス映像)
- 画面横縦比4:3の画像
- 映像を縮小して表示している画像
- 写真や長時間静止した画像
- DVDやブルーレイディスクなどのタイトル画像
- ケーブルテレビチューナーやBD/DVDレコーダーなどつないだ機器のメニュー、番組表、切り換えたときに表示されるチャンネル番号、文字放送やデータ放送などの静止した画像やくり返し表示される画像
- アプリケーションのコンテンツ選択画面(サムネイル画面など)

焼き付きを軽減するには

- 電源を切る
通常はリモコンまたはテレビ本体の電源ボタンで電源を切ることを推奨します。
- 画面いっぱいに映像を映す
画面モードを[フル]や[画面の幅に合わせる]に切り替えて表示します。

- 画面表示を消す
リモコンの画面表示ボタンを押して、画面表示を消します。
つないだ機器の画面表示を消すには、つないだ機器を操作してください。詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 明るい表示が含まれる固定画像や静止画、またはロゴなどを長時間連続して表示しない
- 部屋の明るさにあった画質を選ぶ
画質モードは、ご家庭での使用にあわせて[スタンダード]モードの標準設定をおすすめします。

本機では画面保護のため自動で焼き付きを軽減する機能があります。

パネルリフレッシュ

画面内の輝度差を調整します。

画面の焼き付き(残像)が気になる場合のみ行ってください。

ご注意

- 年1回を超える実施はパネルに負担が掛かる可能性があるため避けてください。
- 処理が終了するまで10分程度かかります。
- パネルリフレッシュ中にテレビの電源を入れると、処理が中断されて「パネルリフレッシュが完了しませんでした…」というメッセージが表示されます。再度パネルリフレッシュを実施してください。
- 焼き付きの状態によって、パネルリフレッシュの効果に差があります。

ピクセルシフト

自動的に画像の表示位置をわずかに動かしています。

その他

画面の全体または一部が静止した状態が続いたり、焼き付きが発生しやすい画像を表示したりすると、明るさを抑えて表示する場合があります。

Google アカウントにログインするとできること

テレビをインターネットにつなぎ、Google アカウントでログインすると、テレビにお好みのアプリをインストールしてインターネット動画を楽しんだり、声で見たいコンテンツを検索したりできます。

テレビの初期設定の中で、Google アカウントでログインできます。あとでログインするには、テレビのホーム画面からリモコンの▼(下)ボタンを2回押し、Google TV の設定を行ってください。

Google アカウントでログインせずにセットアップする

Google アカウントがなくてもテレビ放送を見たり、BDレコーダーなどの機器をつなぐことができます。

ご注意

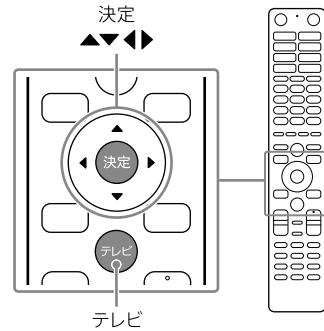
- 本書ではテレビをインターネットにつないで、Google アカウントを使ってログインしたときに使える機能や操作方法を説明しています。

ヒント

- テレビをインターネットにつなぐ方法は、24 ページをご覧ください。
- セットアップ完了後に設定を変更することもできます。詳しくは16 ページをご覧ください。

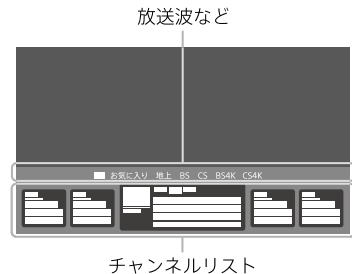
テレビやコンテンツを楽しむ

テレビを見る



1 テレビボタンを押す。

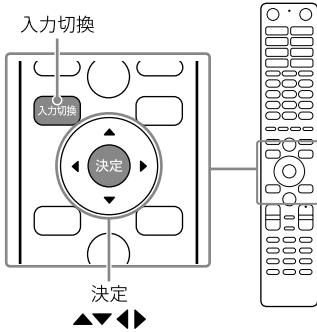
2 テレビメニューとチャンネルリストが表示されるので、▲▼◀▶(上下左右)ボタンで見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



地上、BS/CS、BS/CS 4Kボタンを押すと、放送波が切り換わります。

接続した機器の映像を見る

テレビに接続した機器 (BD/DVDレコーダー、USBメモリーなど) を使う場合は、入力を切り換えてください。



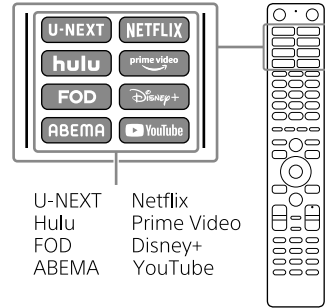
- 1 入力切換ボタンを押し、◀▶ (左右) ボタンで接続機器を選んで、決定ボタンを押し。

ヒント

- 画面右側の+から入力切換に表示する項目を変更できます。

ネット動画を楽しむ

テレビをインターネットにつなぐと、YouTube やNetflixなどの動画配信サービスを利用して、インターネット上のコンテンツを見ることができます。



- 1 テレビをインターネットにつなぐ。(24 ページ)

- 2 お好みのネット動画サービスのボタンを押し。

その他のアプリを起動するには、ホームボタンを押し、ホームメニューから起動します (15 ページ)。
動画サービスによってはログインが必要な場合があります。

BS4K放送や110度CS4K放送を視聴する

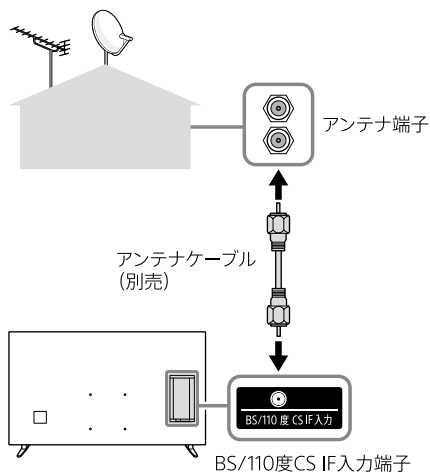
本機は、BS4K放送と110度CS4K放送に対応しています。

有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、対応する設備や機器が必要です。

アンテナをつなぐ

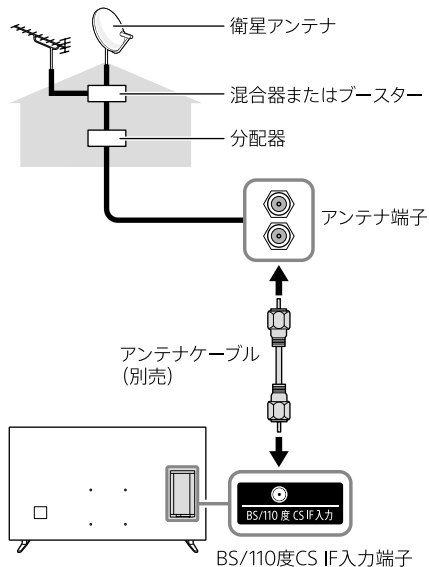
現在ご使用の衛星アンテナ設備で視聴するとき(右旋放送)

現在BS放送のすべてのチャンネルが受信できている場合、従来の衛星アンテナと受信システム機器のままで、NHKと民放キー局系のBS4K放送(右旋放送)を視聴できます。



新しい衛星アンテナ設備で視聴するとき(左旋放送)

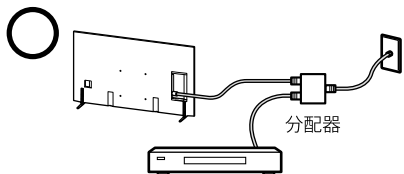
有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、4K放送(左旋放送)に対応した衛星アンテナと分配器やブースター、分波器、F型接栓の同軸ケーブルなどの受信システム機器(3224 MHz対応)が必要です。詳しくは、衛星アンテナ販売店またはテレビ販売店にご相談ください。



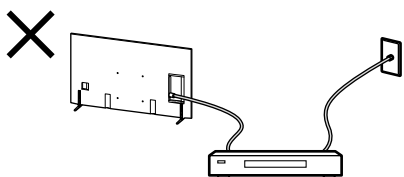
ご注意

- アンテナをつないだ後、アンテナレベルが充分なレベルになっているか確認してください(14ページ)。
- 壁面のアンテナ端子が1つしかない場合は、市販のアンテナ分波器を使い、信号を衛星放送と地上放送の2つに分けてから各アンテナケーブルを本機に接続してください。
- マンションなどの共同受信システムですべてのBS4K放送と110度CS4K放送(右旋・左旋放送)を視聴するには、改修が必要な場合があります。詳しくは共同受信システムを管理しているマンション管理組合や管理会社にお問い合わせください。

- お使いのBDレコーダーが4K放送非対応で、かつ、本機で左旋放送を視聴する場合は、「壁面のアンテナ端子」-「BDレコーダー」-「本機のBS/110度CS IF入力端子」の順に接続しないでください。その場合は、下記のように左旋放送対応の分配器を使い、本機とBDレコーダーを並列に接続してください。



4K放送非対応のBDレコーダー



4K放送非対応のBDレコーダー

アンテナレベルを確認する

受信している信号の品質を確認するには、アンテナレベルを確認してください。

- クイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)** - [放送と外部入力] - [放送受信設定] - [アンテナ設定] - [アンテナレベル] を選び、視聴する信号を選択する。
BS4K放送や110度CS4K放送のアンテナレベルを確認するには、[BS4K] または [CS4K] を選びます。

2 信号品質が緑色のレベルに達しているか確認する。

■ 地上放送



[BS4K] [CS4K] では、「信号品質」が緑色のレベル(数値が28以上)に達していることを確認してください。

■ BS4K放送



信号品質

チャンネルごとのアンテナレベルを確認するには

一部のチャンネルが受信できないときは、チャンネルごとの信号の品質を確認してください。

- 受信できないチャンネルを選局する。
- リモコンのヘルプボタンを押し、[情報と診断] - [放送受信情報一覧] を選択する。
- 信号品質が、緑色のレベルに達しているか確認する。

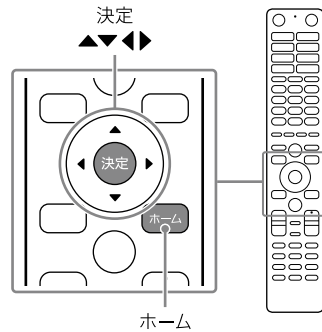
信号品質が不十分だったときは

信号品質が0または不十分(黄色、赤色)である場合は、アンテナの接続環境に問題がある可能性があります。下記の項目を確認し、バーが緑色のレベルになるように調整してください。

- 組み立て／設置ガイド(別紙)や「アンテナをつなぐ」(13 ページ)をご覧ください。正しい接続になっているかを確認してください。接続忘れが無いことや、地上入力端子とBS/110度CS IF入力端子が逆になっていないことを確認してください。
- アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
- 分配器を使用している場合、分配数が多いと信号レベルが下がります。
- 衛星／地上放送の信号が混合されたアンテナ端子をご使用で、特定の放送の受信状態が悪くなる場合は、分波器を使い信号を分けてから本機へ接続をお試しください。
- マンションなどの共同受信システム以外の場合、クイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)**－[放送と外部入力]－[放送受信設定]－[アンテナ設定]－[衛星アンテナ設定]を[オート]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。
- 雨や雪が降ると映りが悪くなる場合があります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなる場合があります。この場合、「降雨対応放送に切り換わりました。(エラーコード：E201)」というメッセージが表示されることがあります。天候の回復をお待ちください。
- 以下の場合には受信レベル表示が低くなり、地上放送を受信できなかったり、映像が乱れたりすることがあります。
 - － お住まいの地域が電波の送信所に近い
 - － 受信電波が強すぎるこの場合はクイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)**－[放送と外部入力]－[放送受信設定]－[アンテナ設定]－[地上アッテネーター(減衰器)]を[入]に切り換えると改善することがあります。改善しない場合には、[切]に戻してください。

ホームメニューを使う

ホームメニューからコンテンツを検索したり、おすすめコンテンツやアプリを選ぶことができます。



1 ホームボタンを押す。

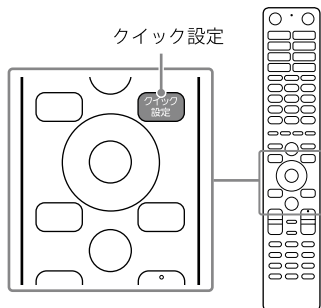
2 ▲▼◀▶ (上下左右)ボタンでお好みの項目を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- お使いの状況により、表示される項目は異なります。

テレビの設定を変える (クイック設定)

リモコンのクイック設定ボタンを押すと、画質や音質、スリープタイマーなど、その画面ですぐにしたい設定を切り換えることができます。



メニューのカスタマイズ

クイック設定に表示される項目は、+ボタンでお好みに合わせて編集することができます。

USBハードディスクに録画する

テレビに録画用USBハードディスクをつなぐと、デジタル放送を録画できます。

テレビに対応しているUSBハードディスクについて詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>

USBハードディスクをつなぐ

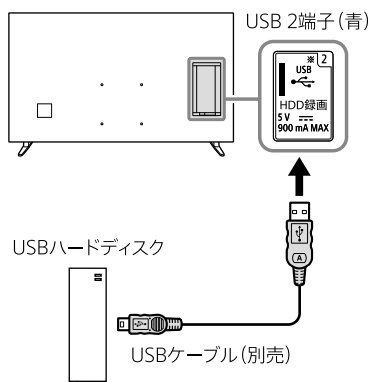
1 必要なもの(別売)を準備する。

- 32 GB以上16 TB以下の録画用USBハードディスク

- USBケーブル(1本)

USB3.0準拠のUSBハードディスクを推奨します。

2 USBケーブル(別売)を、テレビのUSB 2 HDD録画端子(青)とUSBハードディスク(別売)のUSB端子につなぐ。



ご注意

- USBハブを使ってつなぐと録画できません。テレビに直接つないでください。

3 USBハードディスクの電源を入れる。

4 [USBドライブが接続されました]という画面に切り換わるまで待つ。

表示までしばらく時間がかかることがあります。

5 [録画用機器として登録]を選び、画面の指示に従って、USBハードディスクを登録する。

登録が完了するまでしばらくお待ちください。

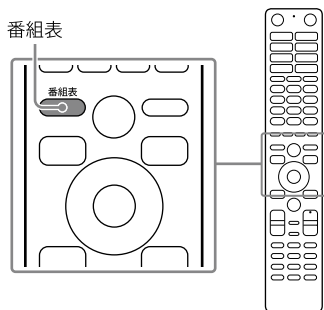
ご注意

- 登録を行うと、USBハードディスク内のすべてのデータが削除されます。
- USBハードディスクが認識されないときや登録できないときは、再度つなぎ直してみてください。

USBハードディスクを登録できないときは

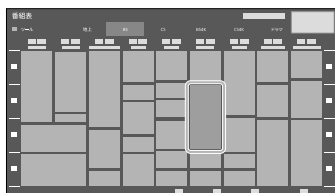
- USBハードディスクがUSB 2端子(青)に接続されているか確認し、接続し直してください。

録画予約する



1 番組表ボタンを押す。

2 録画したい番組を選び、決定ボタンを押す。



3 [録画予約]を選び、画面に従って録画予約を確定する。

録画予約を確認するには、番組表ボタンを押して番組表を表示し、画面上部から[予約リスト]→[録画予約リスト]を選びます。

（ヒント）

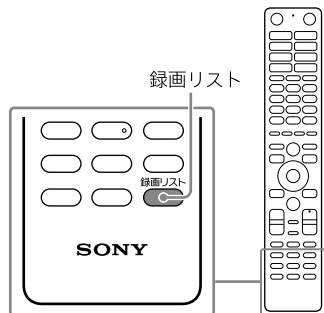
- [録画機器]から録画先を変更することができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- データ放送は録画できません。
- USBハードディスクに録画できる番組の数は3,000件までです。
- 本機を使ってUSBハードディスクに録画した番組は、本機以外のテレビでは再生できません。

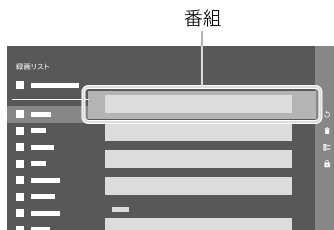
- テレビの不具合や受信障害など、何らかの原因で正しく録画できなかったなど、いかなる場合においても記録内容の保障および、それに付随するあらゆる損害において当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

録画した番組を見る／削除する



1 録画リストボタンを押す。

2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



選んだ番組が再生されます。

録画した番組を削除するには

録画リストで削除したい番組の右の \blacksquare (削除)を選びます。

番組が保護されていて削除できない場合は、 \blacksquare (保護解除)を選びます。



Bluetooth®機器の
つなぎかたや、ス
マートフォンの画面
をテレビに映す方法について詳し
くは、オンライン版のヘルプガイ
ドをご覧ください(4 ページ)。

サウンドバーシステム などをつなぐ

つなぐ機器の機能や音声入力端子の種類に応じて、つなぐ方法を選んでください。

1 必要なケーブルを準備する。

- HDMI出力(ARC)端子がある機器につなぐ場合
 - High Speed HDMIケーブル(別売/1本)
- 光デジタル音声入力端子がある機器につなぐ場合
 - 光デジタル接続ケーブル(別売/1本)

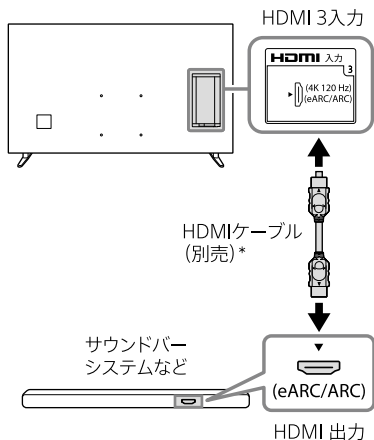
ヒント

- HDMIケーブルでつなぐと、ブラビアリンク機能が使えます。
- ARC (Audio Return Channel)に対応していないサウンドバーシステムにつなぐ場合は、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルの両方をつないでください。

2 準備したケーブルをテレビとつなぐ機器の端子につなぐ。

- HDMI出力(ARC)端子がある機器につなぐ場合

High Speed HDMIケーブル(別売)*を、テレビのHDMI 3入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。

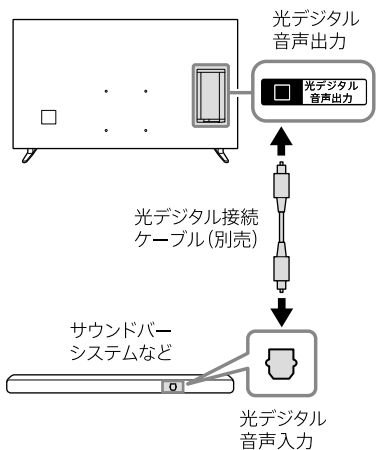


- * サウンドバーシステムなどの先にBDレコーダーやゲーム機を接続し、より高精細なHDMIフォーマットで映像を見る場合は、認証済みのプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)を使用してください。また、画面に表示される説明に従って[HDMI信号フォーマット]を設定してください(22 ページ)。
- * eARCで接続する場合は、イーサネット対応のHDMIケーブルを使用してください。

- 光デジタル音声入力端子がある機器につなぐ場合

光デジタル接続ケーブル(別売)を、テレビの光デジタル音声出力端子とつなぐ機器の光デジタル音声入力端子につなぐ。

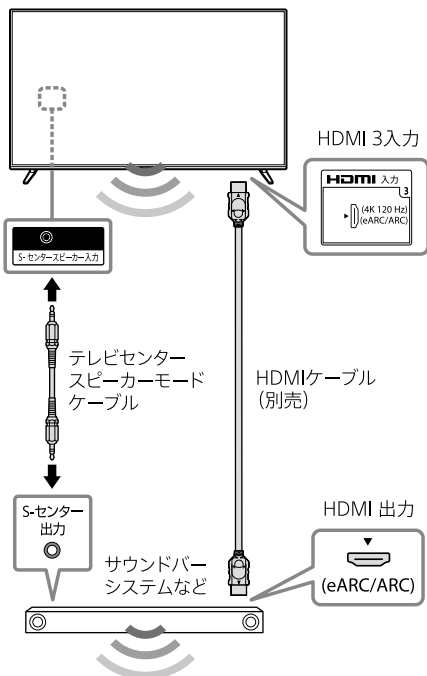
また、クイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)**—[画面と音声]—[音声出力]—[光デジタル音声出力設定]—[光デジタル音声出力]を有効に設定する。



テレビのスピーカーをオーディオシステムの一部として使う

ご注意

- ケーブルをつなぐ前に、必ず本機とオーディオシステムの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 詳しくはS-センター出力端子付きオーディオシステムの取扱説明書をご覧ください。



BDレコーダーやゲーム機をHDMIケーブルなどでつなぐ

つなぐ機器にある映像出力端子の種類に応じて、つなぐ方法を選んでください。

BDレコーダーやゲーム機以外の機器でも、テレビに映像を表示する機器をつなぐ方法は同じです。

1 必要なケーブル(別売)を準備する。

■ HDMI出力端子がある機器につなぐ場合

- High Speed HDMIケーブル(1本)

■ HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツを見る場合

- 認証済みのプレミアムハイスピードHDMIケーブル(1本)

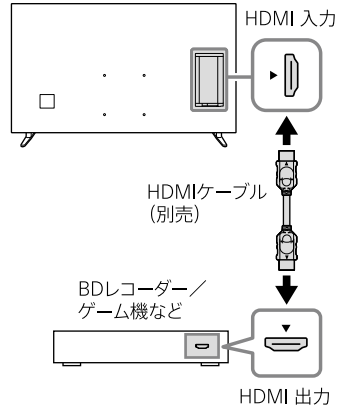
■ HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 120pに対応したゲームなどを楽しむ場合

- 認証済みのウルトラハイスピードHDMIケーブル(1本)

2 準備したケーブルをテレビとつなぐ機器の端子につなぐ。

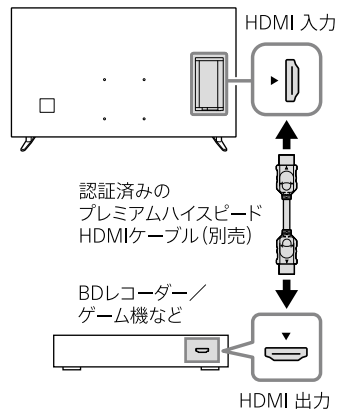
■ HDMI出力端子がある機器につなぐ場合

High Speed HDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



■ HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツを見る場合

認証済みのプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子と、つなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。

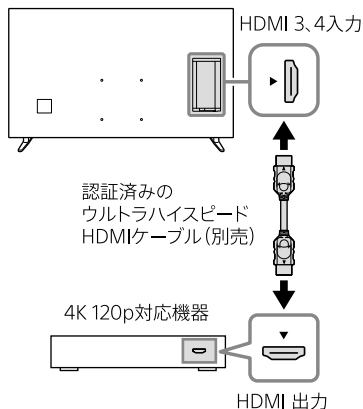


ヒント

- 4K 60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0 10ビットなど、より高精細なHDMIフォーマットで映像を表示するには、テレビの設定変更が必要です。画面に表示される説明に従って[HDMI信号フォーマット]を設定してください。設定について詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

■ HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 120pに対応したゲームなどを楽しむ場合

48 Gbpsに対応した認証済みのウルトラハイスピードHDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI 3、4入力端子と、つなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



ヒント

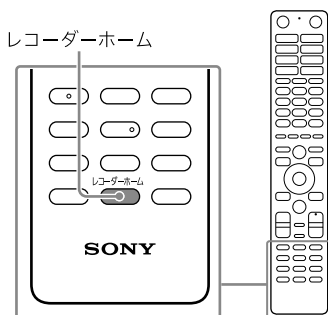
- 4K 120pの映像を表示するには、テレビの設定変更が必要です。画面に表示される説明に従って[HDMI信号フォーマット]を設定してください。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ブラビアリンク機能を使う

テレビとHDMIケーブルでつないだブラビアリンク対応機器をテレビのリモコンで操作できます。

BDレコーダーを操作する

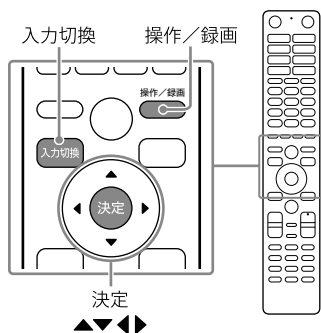
レコーダーホームボタンを押すと、HDMIケーブルで接続したBDレコーダーが起動し、BDレコーダーのホームメニューが表示されます。



- 1 レコーダーホームボタンを押す。
BDレコーダーが起動します。
- 2 テレビのリモコンでBDレコーダーを操作する。

その他のブラビアリンク対応機器を操作する

サウンドバーなど、BDレコーダー以外の機器は、入力切換ボタンから操作します。

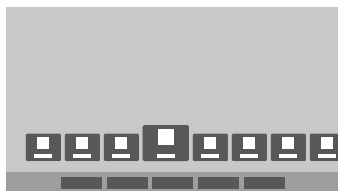


HDMIケーブルで接続した機器が操作できないときは

お使いのブラビアリンク対応機器によっては、あらかじめ[ブラビアリンク設定]から、ブラビアリンク機能を有効に設定する必要があります。また、電源の運動や優先で操作する機器など、詳細な設定も[ブラビアリンク設定]から行うことができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドの「他機器をつなぐ」をご覧ください。

1 入力切換ボタンを押し、◀▶(左右)ボタンで操作したい機器を選んで、決定ボタンを押し。

2 操作/録画ボタンを押し。



機器を操作するための画面が表示されません。

3 テレビのリモコンでブラビアリンク対応機器のメニューを操作する。

ネットワークにつなぐ

テレビをインターネットにつなぐと、インターネット動画を楽しんだり、声で見たいコンテンツを検索したりできます。詳しくは、「Googleアカウントにログインするとできること」(11 ページ)をご覧ください。

テレビをインターネットに接続するためには、インターネットを使用できる環境が必要です。インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

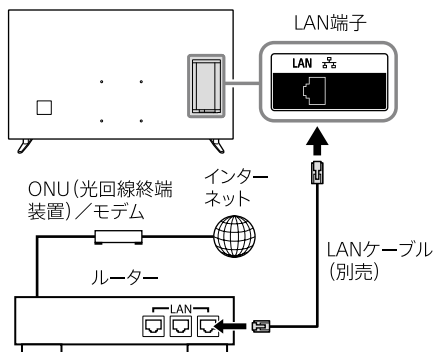
インターネットに接続する方法として、有線接続と無線接続があります。

有線接続する

1 必要なもの(別売)を準備する。

- ルーター (1台)
- カテゴリ 5 (CAT5) 以上のLANケーブル(1本)

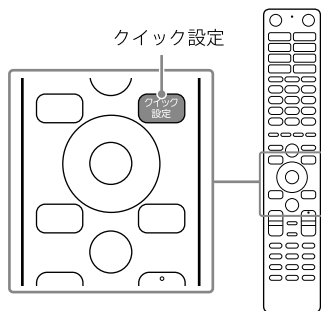
2 LANケーブル(別売)を、テレビのLAN端子とルーターのLAN端子につなぐ。



ご注意

- 本機をインターネットに接続してご使用の際は、ルーターを介した接続、またはルーター機能を有したLANポートへの接続をしてください。

無線接続する (Wi-Fi)

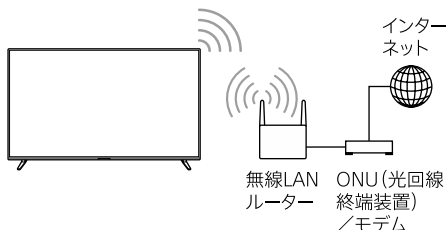


1 必要なもの(別売)を準備する。

- 無線LANルーター (1台)

(ヒント)

- 無線LANルーターのSSIDとセキュリティキーを控えておいてください。
- セキュリティキーの名称はメーカーによって異なります(「暗号化キー」、「暗号キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など)。



2 クイック設定ボタンを押して、 ⚙️(設定) - [ネットワークとインターネット] を選ぶ。

3 接続したいネットワークを選んでセキュリティキーを入力する。

ヒント

- 無線LANルーターの設定を変更できる場合は、802.11n、802.11acまたは802.11axに設定してください。インターネットで動画をスムーズに再生できます。設定のしかたは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧くださいか、ネットワークを設定した人（ネットワーク管理者）にお問い合わせください。

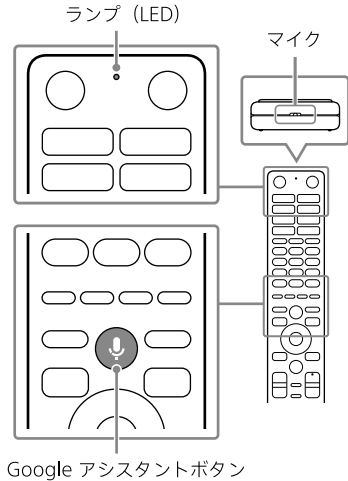
ネットワークに接続できないときや設定を変更したいときは

「問題と対処」の「インターネット」(33ページ)または、オンライン版のヘルプガイドの「ネットワークに接続する」をご覧ください。

音声でコンテンツを検索する

リモコンのマイクを使う

リモコンで Google アシスタントに話しかけて、エンターテインメントの検索やテレビの操作ができます。



1 テレビをインターネットにつなぐ。

音声でコンテンツを検索するには、インターネット接続 (24 ページ) と Google アカウントへのログイン (11 ページ) が必要です。

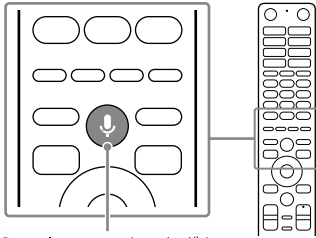
2 Google アシスタントボタンを押しながら、リモコン上部のマイクに向かって検索キーワードを声で入力する。



本体マイクを使う

本体のマイクで見たいコンテンツを検索したり、ハンズフリーでテレビを操作したりすることができます。

本体マイクを有効にするには



Google アシスタントボタン

1 テレビをインターネットにつなぐ。

音声でコンテンツを検索するには、インターネット接続(24 ページ)と Google アカウントへのログイン(11 ページ)が必要です。

2 本体マイクスイッチをオンにする (5 ページ)。

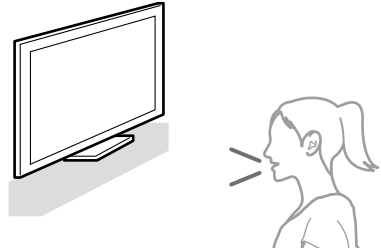
3 リモコンの Google アシスタントボタンを押す。

本体マイクの設定画面が表示されます。

4 画面に従って本体マイクの設定を完了する。

本体マイクの使いかた

1 テレビに向かって「OK Google」と話しかける。



2 テレビに向かって、検索したいキーワードややりたいことを話しかける。

故障かな？と思ったら

テレビをご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示される場合は、書き留めておくことをおすすめします。

1 テレビ本体をリセット(再起動)する

- ① リモコンの電源ボタンを、電源が切れるまで押し続ける(5秒間以上)。
- ② 自動で電源が入るまで1分程度待つ。それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜き、テレビ本体の電源ボタンを1回押してください。その後、2分間待ってからテレビの電源を入れてください。または、テレビ本体の電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください(40秒以上)。

2 ソフトウェアの更新をする(インターネットにつないでいる場合)

リモコンのヘルプボタンを押して、
[情報と診断]－
[システムソフトウェアの更新]－
[ソフトウェアの更新]－
[本機のソフトウェアを更新]を選び、ソフトウェアを更新します。

3 本書やヘルプで調べる

本書の「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。テレビをインターネットにつないでいる場合は、ヘルプボタンを押して、サポート情報を調べます。

4 テレビの診断機能で調べる

ヘルプボタンを押して、[情報と診断]の中から該当する項目を調べます。

5 サポートページで調べる

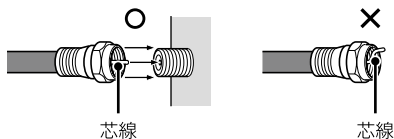
ブラビア サポートページ
<https://www.sony.jp/support/tv/>
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

6 それでも解決しないときは

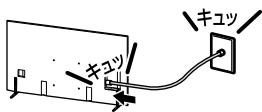
使い方相談窓口、修理相談窓口
(36 ページ)へご相談ください。

まず確認してください

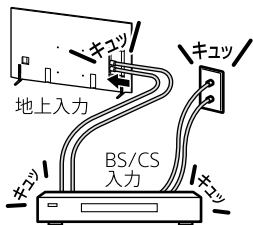
アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。



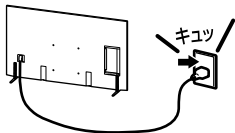
アンテナケーブルがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。



機器間のケーブルはゆるんでいませんか？



電源コードがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。



ソフトウェアの更新画面が表示されたら

テレビの更新ソフトウェアがあります
テレビのリモコンで操作してください。

閉じる 詳細 更新

最新のソフトウェアが見つかったことを伝えるメッセージです。[更新]を選ぶとソフトウェアのダウンロードが自動で始まります(ダウンロード中もテレビを使用することができます)。ダウンロード完了後、次回に電源を入れたときに更新が適用されます。

メッセージが消えたあとに、もう一度このメッセージを見るには、クイック設定ボタンを押し、[ブラビアからのお知らせ]を選びます(16 ページ)。

ソフトウェアの更新内容についてはブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>



こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。
有機ELパネルは非常に精密度の高い技術で作られています。黒く光らない点や赤、青、緑の点が見れる場合があります。



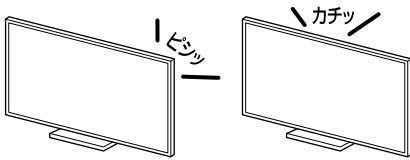
輝点・滅点

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が動くため音がします。また、電源スタンバイ時は、データ受信のためにテレビの電源が自動的に入り、音がすることがあります。テレビ前面のランプ(LED)が点滅しますが故障ではありません。



電源が入らなくなった／画面や音が出なくなった／リモコンや機能が使えなくなった。

何らかの原因により、テレビが一時的に誤動作を起こしている可能性があります。リモコンの電源ボタンを5秒以上長く押し、電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜きテレビ本体の電源ボタンを1回押してください。その後、2分間待ってから電源プラグを再度つなぎ、テレビ本体の電源ボタンで電源を入れてください。または、テレビ本体の電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください(40秒以上)。

• システムの初期化に時間がかかるため、しばらくの間テレビ本体の電源ボタン、リモコンで電源操作ができないことがあります。その場合1分程度待ってから操作してください。

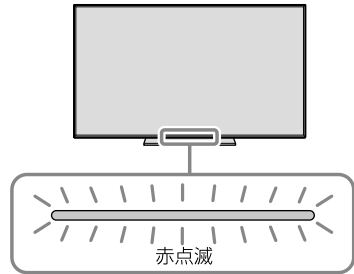
問題と対処

画面／画像／ランプ(LED)

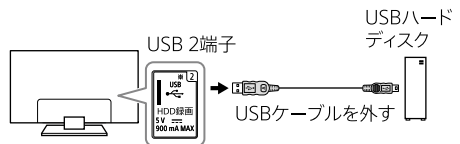
画面や音が出ない／リモコンや機能が使えない／ランプ(LED)が赤色に点滅する。

- 画面が消え、テレビ前面のランプ(LED)が赤色に点滅するときは、テレビの自己診断機能により、テレビに何らかの異常が起きていることが見つかった可能性があります。点滅回数をご確認のうえ、ソニーの相談窓口(35ページ)にお問い合わせください。

点滅はおおよそ3秒おきに繰り返します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅... この場合の点滅回数は2回です。



- USBハードディスクが原因の場合があります。USBハードディスクが動作していないことを確認したあと、USBケーブルを一度テレビから外して、症状が発生するかご確認ください。ケーブルを外すと症状が発生しない場合は、USBハードディスクのメーカーにお問い合わせください。



画面が暗い。

- 画面の明るさは、画質設定によって異なります。画面を明るい設定にするには、クイック設定ボタンを押し、[画質モード]を[ダイナミック]に設定してください。

一定時間が経つと画面が暗くなる。

- 画面全体、または画面の一部が静止した状態が続くと、パネルの焼き付きを軽減するために画面が次第に暗くなります。これはパネルを保護するための機能で、故障ではありません。

画面の残像が気になる。

- 長時間同じ画面を表示し続けたり、繰り返し同じ画面を表示したりすると、パネルに焼き付き(残像)が発生することがあります。この症状は故障ではありません。パネルリフレッシュを行うと焼き付きを軽減できます。

ご注意

- パネルリフレッシュはパネルの焼き付きが目立つ場合のみ行ってください。年1回を超える実施はパネルに負担がかかりますので避けてください。
- 明るい色が含まれる画面は焼き付きが起りやすくなります。このような画面を長時間連続して表示しないでください。

「パネルリフレッシュが完了しませんでした…」というメッセージが表示される。

- パネルリフレッシュ中に電源を入れたり、電源コードを抜いたりすると、処理を完了せずにメッセージでお知らせします。再度パネルリフレッシュを実施してください。

画像が乱れる。

- アンテナケーブルを電源コードからできるだけ離してください。
- 左旋放送を視聴するには、BS4K/110度CS4Kの左旋放送に対応した衛星アンテナや伝送機器(ブースター、分配器、分波器、配線用の同軸ケーブルなど)が必要です。

- テレビの近くで携帯電話などの電波を発する機器や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。特に左旋放送を視聴するときは、これらの機器とテレビを離してください(3 m以上推奨)。また、左旋放送を視聴する場合、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生して映像や音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - テレビを有線LANでネットワークに接続する。
 - 無線LANで接続する場合、無線LANルーターの周波数帯を5 GHzにする。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14 ページ)。

表示されない設定項目がある。

- 受信している放送や設定/調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。また、クイック設定の表示項目は、「+」から変更することができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ランプ(LED)が常に点灯している。

- オレンジ色のランプ(LED)の常時点灯は本体マイクが使える状態にあることを示すもので、異常ではありません。その他の本体のランプ(LED)の光りかたや消灯の方法については、オンライン版ヘルプガイドをご覧ください。

メッセージ表示

画面の右上にメッセージが表示された。

- ソフトウェアの更新などを伝える通知です。通知の内容を確認するには、クイック設定ボタンを押しして[ブラビアからのお知らせ]を選んでください。

「テレビの更新ソフトウェアがあります」と表示される。

- 本機を最新の状態に保つために、デジタル放送またはネットワークから最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新する必要があります。詳しくは28ページをご覧ください。

ブロックノイズやE201/E202のエラー表示が出て見られない。

- アンテナケーブルの差し込み口を間違えていないか(テレビ側/接続機器/壁側)、ケーブルが古かったり、コネクタ内部でショートしたりしていないか確認してください。

音声

画像は出るが、音が出ない。

- リモコンの消音ボタンまたは音量+ボタンを押してください。
- クイック設定ボタンを押し、[音声出力]を[テレビスピーカー]に設定してください。

オーディオシステムから音がでない。

- オーディオシステムがeARC/ARCに対応している場合はテレビのHDMI 3入力端子に接続されているか、非対応の場合はHDMIケーブル以外に光デジタルケーブルが接続されているか確認してください。
- クイック設定ボタンを押し、[音声出力]が[オーディオシステム]に設定されているか確認してください。
- その他、詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

放送受信

テレビを視聴中、突然画面が見覚えのない動画に変わってしまう。

- デモモードが有効になっています。[デモモード]と[店頭リセットモード]を無効に設定してください。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

地上放送が受信できない。

- 地上放送の入力を選んでいない可能性があります。リモコンの地上ボタンを押してください。
- アンテナの設置やブースターの設定が正しいか確認してください。アンテナの設置やブースターの設定について詳しくは、アンテナやブースターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 引越したり、新しく開始された放送を受信したいときは、46ページをご覧ください。チャンネル設定をやり直してください。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14ページ)。
- [地上アッテネーター (減衰器)]の設定を確認してください(15ページ)。

BS/110度CS放送が受信できない。

- 衛星アンテナの設置が正しいかご確認ください。衛星アンテナの設置について詳しくは、衛星アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 見たい放送/接続している機器の入力を選んでいるか確認してください。
- ケーブルテレビ(CATV)でBS/110度CS放送を受信している場合、ケーブルテレビ放送会社の再送信方式によっては本機で受信できない場合があります(本機が対応しているのはパススルー方式のみです)。詳しくはケーブルテレビ放送会社にご確認ください。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14ページ)。

BS4K/110度CS4Kが受信できない。

- BS放送が受信できるか確認してください。
- BS放送が映らない場合は、アンテナケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- BS放送が映る場合、受信できていないチャンネルを視聴するには、BS4K/110度CS4Kの左旋放送に対応した衛星アンテナや伝送機器(ブースター、分配器、分波器、配線用の同軸ケーブルなど)が必要です。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14ページ)。

接続機器

つないだ機器の画像が表示されない。

- つないだ機器の電源が入っているか確認してください。
- 接続ケーブルの端子部分がしっかりと接続端子に差し込まれているか確認してください。
- リモコンの入力切換ボタンを押して、つないだ機器の入力を選んでいるか確認してください。

ブラビアリンクが効かなくなった。

- 以下の順序でブラビアリンクの設定をし直してください。
 - 1 テレビの電源プラグを抜き、テレビ本体の電源ボタンを1回押す。2分間待ってから電源プラグを再度つなぎ、テレビ本体の電源ボタンで電源を入れる。
 - 2 HDMIケーブルを接続し直す。
 - 3 ブラビアリンクの設定をし直す。
詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

リモコン

リモコンでテレビを操作できない。

- リモコンをリセットすると、改善する場合があります。リモコンから電池を抜いて任意のボタンを一度押し、1分ほど放置した後で入れ直してください。電池は+／-を正しい向きに合わせて、一極側から入れてください。
- 電池切れの可能性があります。リモコンの電池を交換してください。電池は+／-を正しい向きに合わせて、一極側から入れてください。
- テレビ以外の接続機器が操作されてしまう場合は、ブラビアリンク対応機器の操作をする設定になっている可能性があります。ホームボタンを押し、テレビを操作してください。

- リモコンの代わりにテレビ本体の電源ボタンで操作してください(5 ページ)。

音声で検索できない。

- リモコンの電池を交換してください。
- Google アカウントでログインしていない場合は、音声検索は使えません。テレビのホーム画面から Google アカウントでログインするための設定を行ってください。

録画

「故障かな?と思ったら」(27 ページ)を参考にテレビの再起動、またはソフトウェアの更新を試してください。

USBハードディスクが使用できない／登録できない。

- USBハードディスクがテレビに対応しているかご確認ください。テレビに対応しているUSBハードディスクについては、ブラビア サポートページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>
- USBハードディスクのUSBケーブルを一度テレビから抜き、「HDD録画」と書かれたテレビのUSB 2端子(青)に再度つなぎ直してください。

録画できない、録画されていない。

- リモコンの録画リストボタンを押して、[予約リスト／予約設定]を選び、[録画エラーリスト]を選んで原因を確認してください。

録画した番組が消えた。

- 録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜くと、録画中の番組は保存されません。プラグやケーブルを抜くと、USBハードディスクに保存されているすべての番組が削除されることがあります。
- 録画リストの左側にある[すべて]を選んでください。

電源を入れていないのに、USBハードディスクが動作する。

- 本機は電源スタンバイ中に番組表などのデータ取得を行うことがあります。その際、接続されているUSBハードディスクが一時的に動作したり、ランプが点灯したりすることがあります。


インターネット

インターネットに接続できない。

- LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。電波状況の影響を受けている可能性があります。
 - 他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯から離してください。
 - 無線LANルーターと本機の間には床や壁がない状態にしてください。
 - ルーターが正しく設定されているか確認してください。詳しくはルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。メーカーへお問い合わせください。接続するための情報(アカウント名や、パスワードなど)が不明な場合は、プロバイダーにお問い合わせください。
 - 無線LANルーターを再起動して改善するかお試しください。
 - 前述の対処を行っても正常に動作しない場合は有線LAN接続をおすすめします。
- リモコンのヘルプボタンを押し、[情報と診断]—[ネットワーク接続診断]を選び、無線の電波強度など、ネットワークの接続状態を確認してください。

Google アカウントを使ってログインしたい／設定をやり直したい。

- アプリのインストールや音声検索をできるようにするには、Google アカウントを使ってログインする必要があります。テレビのホーム画面から Google アカウントでログインするための設定を行ってください。すでに設定が完了している場合は、この操作は不要です。

Google でログインしない状態に切り換えるなど、設定をやり直したい場合はテレビを出荷状態に戻します。クイック設定ボタンを押して、[設定]—[システム]—[デバイス情報]—[リセット]—[出荷状態に戻す]—[すべて消去]を選んでください。

起動しないアプリや機能がある。

- アプリや機能には、Google アカウントでのログインが必要なものがあります。ログインしてから再度試してください。

アプリのアップデートができない。

- アップデートには Google アカウントでのログインが必要です。ログインしてから再度試してください。

その他

本機の周辺が熱い。

- 長時間使用したときなどに、本機の正面や背面、上部、底部が熱くなり、手で触れると熱く感じることもあります。異常ではありません。

ACAS番号について

ACAS番号とは、受信機ごとに割り振られた20桁の番号です。NHKの受信機設置メッセージの消去や有料放送を視聴する際に必要です。ACAS番号を確認するには、リモコンのヘルプボタンを押し、[情報と診断]→[放送受信情報一覧]を選んでください。[CAS情報]のモジュールIDに表示された番号がACAS番号になります。

ACAS番号をご確認のうえ、記入してください。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビ放送会社にご相談ください。ケーブルテレビ放送会社の連絡先がわからないときは、下記までお問い合わせください。
(社)日本ケーブルテレビ連盟
電話：03-6228-6639
提供地域(エリア)については、下記ホームページでご確認ください。
<https://www.catv-jcta.jp/>

放送局お問い合わせ先

- NHK
受信機設置のご連絡とメッセージ消去
電話：0120-933-933
<https://nhk.jp/cas>
- WOWOW
電話：0120-580-807
<https://www.wowow.co.jp/>
- スターチャンネルカスタマーセンター
電話：0570-013-111または044-540-0809
<https://www.star-ch.jp/>
- スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）
電話番号：0120-211-855
受付時間：10:00～20:00<年中無休>
<https://www.skyperfectv.co.jp/>
- (社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
新4K8K衛星放送コールセンター
電話：0570-048-001
<https://www.apab.or.jp/>

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は、保証書が添付されています(裏表紙)。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書とヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

- 製品内部を開けず、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用中のケーブル類なども合わせてお持ちください。
- BS、110度CS並びにBS4K/110度CS4Kの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社にお問い合わせください。
- デジタル放送全般については(社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のホームページをご覧ください。
<https://www.apab.or.jp/>

保証期間中の修理は

- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。


ソニーの相談窓口のご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、ホームページまたはソニーの相談窓口へ。

相談窓口へお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面の端子カバー  を開けたところに記載されていません。

型名： K-77XR80 K-55XR80	K-65XR80
--------------------------	----------

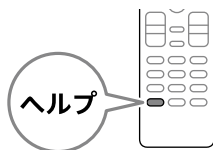
This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country/region.

？ お電話でのお問い合わせの前に

リモコンの電源ボタンを長押ししてテレビを再起動すると、問題が解決する場合があります。詳しくは、本書の「故障かな？と思ったら」(27 ページ)をご覧くださいのうえ、解決方法をご確認ください。



トラブルの解決や最新のサポート情報、電子取説(ヘルプガイド)をご確認いただけます。



♡ 長年ご使用のテレビの点検を！ 愛情点検

こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常な熱を持っていませんか
- 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音(パチパチ)がしませんか
- 電源を入れても画像や音が出ないことがありますか
- 故障状態のまま使用していませんか



すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口

● 各種お問い合わせ

様々なお問い合わせ方法を準備しております。
お気軽に LINE、チャット、メールでお問い合わせください。
詳しくは以下のホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>

● 電話でのお問い合わせ

【使い方相談窓口】

フリーダイヤル: 0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話: 050-3754-9577

【修理相談窓口】

フリーダイヤル: 0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話: 050-3754-9599

FAX: (共通) 0120-333-389



ガイドンスに沿って
短縮番号「200」+「#」を押すと、
担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

安全のために



下記の注意を守らないと火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

次のことを守って、本機を設置する

テレビが落下して、重大な人体傷害または死亡の要因になるおそれがあります。多くの傷害、特に子どもに対するものは、次のような簡単な予防措置をとることによって、避けることができます。

- 常に、ソニーが推奨したキャビネット、またはスタンド、または取付手段を使用する。
- テレビを安全に支持することができる家具だけを必ず使用する。
- 支持している家具の端から、テレビが突き出ないことを確実にする。
- テレビまたはその制御部に到達するために家具によじ登ることの危険性を子どもに必ず教育する。
- テレビに接続するコードやケーブルを引掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように必ず配置する。
- 決して、不安定な場所にテレビを置かない。
- 家具およびテレビの両方を適切な支持体にしっかりと固定することなく、背の高い家具(例えば、食器棚や書棚)の上に機器を決して置かない。
- テレビと支持している家具との間に、布または他の材料を置いてテレビを決して置かない。
- テレビの上やテレビの置かれている家具の上に、子どもがよじ登りたくなるようなもの(玩具やリモコンなど)を決して置かない。

既存のテレビを使い続けるまたは再配置する場合にも、上記と同じ事項を適用することを推奨します。

転倒防止の処置を必ず行う

転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間、適切な転倒防止の処置を行ってください。(転倒防止の処置については47ページをご覧ください。)



禁止

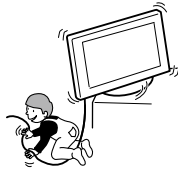
人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する
電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけてと製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



禁止

乳幼児がコードを引っ張る恐れのない場所に電源コードや信号ケーブルを配置してください。



禁止

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。テレビが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。



禁止



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



禁止



テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



禁止

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

- 専門業者以外の人に取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの質量は、49ページをご覧ください。)
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。



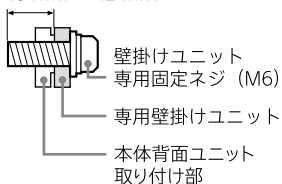
禁止

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

誤った取り付け方で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジを使う。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが図のように設定されています(壁掛けユニットによってネジの長さは異なります)。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。

10 mm ~ 12 mm



医療機器としての使用はできません

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

子どもや監督を必要とする方などの手の届くところに置かない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こす恐れがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



警告



火災



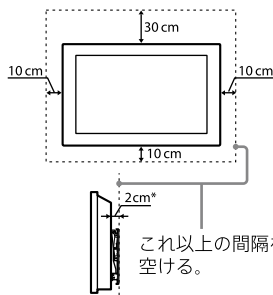
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

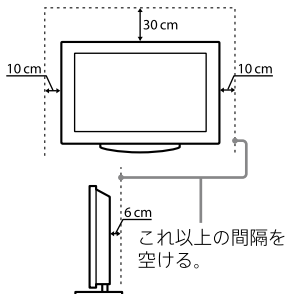
周囲に間隔を空けずに設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき



* SU-WL850を使用する場合は1cm。

スタンドを使用するとき

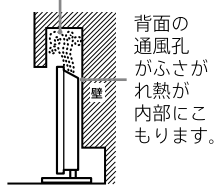


下図のような設置はおやめください。

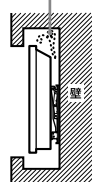


禁止

空気が抜けなくなります。



空気が抜けなくなります。



底面の通風孔を布などでふさがないでください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーベットのの上に置かない。
- 布をかけない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。
- 本機の下に物を置かない。



禁止



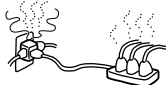
電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V (50/60 Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。



禁止



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

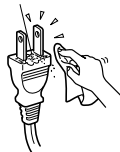
電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

汚れ



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



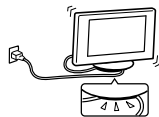
プラグをコンセントから抜く

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口へ交換をご依頼ください。



禁止



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



雷が鳴りだしたら、アンテナケーブルや電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止



使用

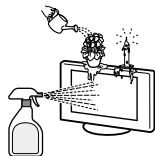
内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

画面や本機の背面など機器全体に直接水や洗剤をかけない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



禁止



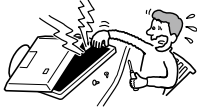
分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



分解禁止



リモコン及び電池の取り扱いについて

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かず、本機に触れると、感電の原因となることがあります。



接触禁止

ガラスの破片に触れない

有機ELパネルが破損すると、ガラスの破片が飛び散ることがあります。このガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。触れるとけがをするおそれがあります。



接触禁止

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する

- 誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。
- 本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

人がぶつかりやすい場所に置かない

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより本機が故障したりします。



風呂・シャワー室での使用禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ(調理台や加湿器のそば)におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。



禁止



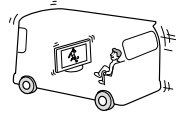
乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



禁止



可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

屋外や窓際に使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。

海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



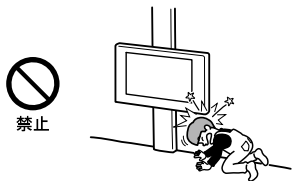
禁止



壁掛け設置

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けしないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

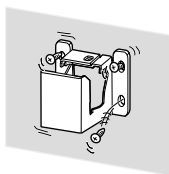
テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(必要本数以上)で、しっかりと固定してください。



取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因になります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

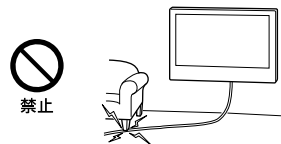
垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

本機を床に垂直に設置し固定する

本機を傾けた状態で設置すると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

付属品の小さな部品を飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

本機は電源スイッチを切ただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



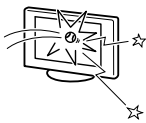
プラグをコンセントから抜く

画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



禁止



画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、ケガの原因となります。



音量について

周辺の人を迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン/タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

同軸ケーブルの接続について

主電源接続、または他の機器を通じて建物の設備の保護接地に接続し、かつ、同軸ケーブルを使ってテレビ信号分配システムに接続する機器は、ある種の条件下では火災の原因となる可能性があります。従って、テレビ信号分配システムへの接続は、ある程度の周波数範囲以下で電気絶縁する機器(ガルバニック絶縁器についてはEN60728-11を参照)を備えなければなりません。

オプション機器について

本機は3メートル未満の信号ケーブルを使用した場合にEMC規格の制限に準拠していることがテストにより確認されています。

磁気の影響を受けやすい物に近づけない

本製品(カバー類などの付属品を含む)は磁石を使用しています。磁気の影響を受けやすい物(磁気ストライプ付きのキャッシュカードやクレジットカードなどを)を本製品の近くに置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 危険

- 電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。爆発、液漏れ、ガス漏れの可能性があります。

⚠ 警告

- 火の中に入れていない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された種類の電池以外使用しない。誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

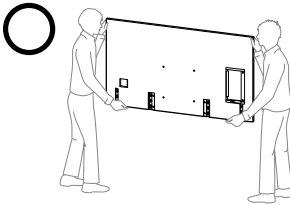
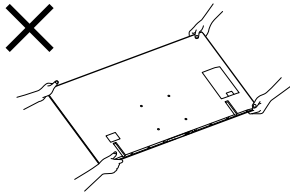
⚠ 注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

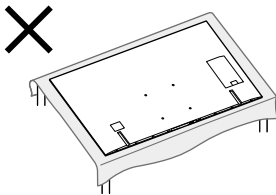
使用上のご注意／お手入れ

運搬／設置について

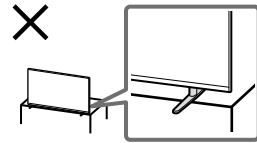
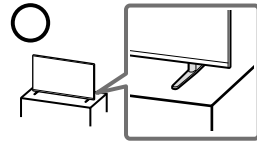
- 大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。



- 運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大げがの原因となります。特に、画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- スタンドや壁掛けユニットの取り付け作業時に、テレビ画面を下に向けて置かないでください。



- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気の多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。
- テレビ台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、お子さまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けた外、外した場合には、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

画面について

- 画面を太陽に向けたままにしないでください。画面を傷める原因になります。
- 画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、有機ELパネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間使用したあとに画面を触ると、熱く感じる場合があります。
- 画面上に光らない画素(減点)が現れることがありますが、故障ではありません。有機ELパネルは非常に精密な技術で作られています。ごくわずかの画素欠けがある場合がありますのでご了承ください。

ネットワークへの接続について

- この機器は、電気通信回線設備に直接接続することができません。この機器をインターネットに接続する場合は、必ず電気通信事業法の認定を受けたルーター等を経由してください。
- 本機をネットワークにつなぐ際は、セキュリティ強化のため、ルーターもしくはルーター機能を有したLANポートへつないでください。セキュリティの問題が発生すると、テレビがインターネットを通じてマルウェア(悪意のあるソフトウェア)などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんされてしまうことがあります。また、お使いの機器が意図せずに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性があります。

無線の周波数について

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、36ページに記載のソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、36ページに記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

2.4FH1/XX4

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は40mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたって番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。データを消去するにはクイック設定ボタンを押して、**⚙️(設定)**—[システム]—[デバイス情報]—[リセット]—[出荷状態に戻す]—[すべて消去]を選びます。ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。消去前に記録しておいてください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

廃棄について

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの有機ELテレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

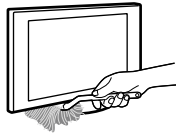
お手入れ

誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- 画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 画面の汚れについては、マイクロファイバークロスを使用してください。
- 画面以外について、軽い汚れのときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに浸した布を固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。



- テレビの下は柄つきのモップなどを使用してください。狭いので手を入れて掃除しないでください。



- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。

以下のことは行なわない

- 殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持つたり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販のパネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。



再設置／テレビを壁に取り付けて使う

再設置するには

再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

スタンドの外しかたは、同じページの壁掛けユニット取付方法をご覧ください。

テレビを壁に取り付けて使うには

テレビの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。「主な仕様」(48 ページ)をご覧ください。お持ちのテレビに対応している壁掛けユニットをお使いください。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。

また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。

専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、テレビに取り付けたスタンドを外し、壁の取り付け位置の確認をしたり、テレビに必要な部品を取り付ける必要があります。

取り付けかたについて詳しくは、壁掛けユニットに付属の取扱説明書およびガイドと、Webサイトから「壁掛けユニット取付方法」(PDF)をダウンロードしてご確認ください。

取扱説明書や組み立て／設置ガイド、壁掛けユニット取付方法、寸法図などのダウンロードはこちらをご覧ください。

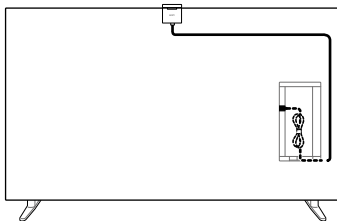
<https://www.sony.jp/support/tv/products/xr80/manual.html>



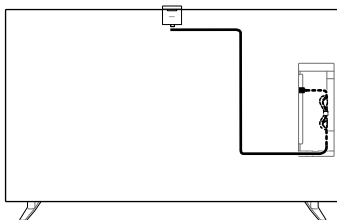
別売カメラ・マイクユニットのケーブルマネジメント

スタンドを使用するとき

K-77XR80/65XR80

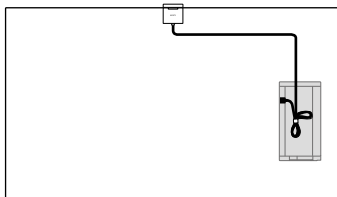


K-55XR80

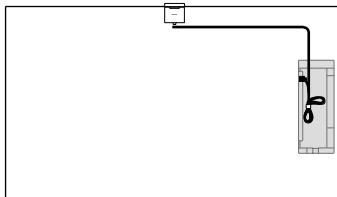


壁に取り付けるとき

K-77XR80/65XR80



K-55XR80



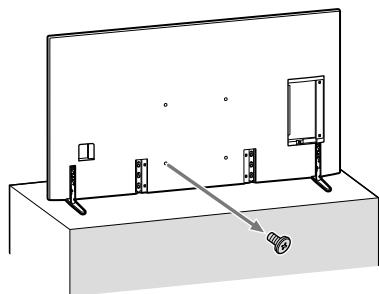
チャンネル設定をやり直す

引っ越ししたり、新しく開始された放送を受信したいときは、チャンネル設定をやり直してください。

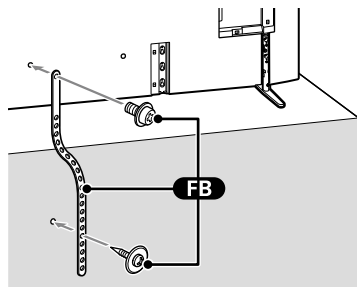
- 1 クイック設定ボタンを押して、
⚙️(設定)－[放送と外部入力]－
[放送受信設定]を選び、お使いの地域を設定する。
- 2 [地上：自動チャンネル設定]を選んでチャンネルスキャンする。

転倒防止用ベルトを取り付ける

- 1 テレビ背面のネジを外す。



- 2 付属の転倒防止用ベルトを取り付ける。



ヒント

- 転倒防止用ベルトは左右どちらのネジ穴にも取り付けられます。
- 付属の木ネジが使えない場合や、強度が不十分な場合は、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ(直径4 mm)をお使いください。

主な仕様

システム

受信方式

地上放送方式、BS放送方式、110度CS放送方式、BS4K放送方式、110度CS4K放送方式

受信チャンネル

地上放送

VHF:1 ~ 12、UHF:13 ~ 62、CATV:C13 ~ C63

CATVはケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要

BS/110度CS放送

1032 MHz ~ 2071 MHz

BS4K/110度CS4K放送

1032 MHz ~ 3224 MHz

パネルシステム

有機ELパネル

使用スピーカー

アクチュエーター (2)

トゥイーター (2)

サブウーファー (1)

音声出力(実用最大出力)

K-77XR80 :

13 W+13 W+10 W+10 W+10 W

K-65XR80/55XR80 :

10 W+10 W+10 W+10 W+10 W

(省エネ設定時を除く)

無線技術

プロトコル IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax

Bluetooth® Version 5.3

入出力端子

アンテナ端子

地上 75Ω F型コネクター

BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター

(コンバーター用電源出力、DC15 V、最大4 W、芯線側+、メニューにてオート/入/切を切り換え)

HDMI 1 ~ 4入力端子(HDMI3、4入力端子のみ120 Hz対応)

ヘッドホン端子

S-センタースピーカー入力端子

光デジタル音声出力端子

角型端子、2チャンネル リニアPCM (48 kHz 16ビット)、ドルビーオーディオ*1、DTS*1、MPEG2 AAC*1

*1 対応するオーディオシステムを本機につなぎ、[スピーカー出力]を[オーディオシステム]に設定してください。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

LAN (10/100)端子

10BASE-T/100BASE-TXコネクター

USB端子

• USB 1 (USB 2.0対応)

• USB 2 録画用HDD接続端子(USB 3.2 Gen 1対応)

電源部、その他

動作温度

0 °C ~ 40 °C

動作湿度

20% ~ 80% (結露なきこと)

消費電力

K-77XR80 : 608 W

K-65XR80 : 449 W

K-55XR80 : 351 W

消費電力(リモコン待機時)

0.5 W (データ取得時、ネットワーク接続時を除く)

年間消費電力量

K-77XR80 : 249 kWh/年

K-65XR80 : 195 kWh/年

K-55XR80 : 167 kWh/年

区分名

d

受信機型サイズ

K-77XR80 : 77V

K-65XR80 : 65V

K-55XR80 : 55V

パネル解像度

3840×2160 (画素 : 水平×垂直)

有効画面サイズ*2 (幅・高さ・対角)

K-77XR80 : 169.7・95.5・194.7 cm

K-65XR80 : 142.8・80.4・163.9 cm

K-55XR80 : 121.0・68.0・138.8 cm

視野角(左右/上下)

178/178度 (JEITA規格準拠コントラスト比10:1)

最大外形寸法*2

(最大突起部分を除く)(幅×高さ×奥行き)

スタンド含む

スタンド標準時/内側時

K-77XR80 : 171.3×101.2×40.5 cm

K-65XR80 : 144.2×85.5×24.8 cm

K-55XR80 : 122.3×73.2×24.8 cm

サウンドバースタイル(外側時/内側時)

K-77XR80 : 171.3×106.6×40.5 cm

K-65XR80 : 144.2×90.9×24.8 cm

K-55XR80 : 122.3×78.6×24.8 cm

スタンド除く

K-77XR80 : 171.3×98.4×3.8 cm

K-65XR80 : 144.2×82.9×3.7 cm

K-55XR80 : 122.3×70.6×3.7 cm

スタンド幅*2

スタンド標準時/サウンドバースタイル(外側時)

K-77XR80 : 125.8 cm

K-65XR80 : 124.4 cm

K-55XR80 : 107.5 cm

スタンド標準時/サウンドバースタイル(内側時)

K-77XR80 : 59.6 cm

K-65XR80 : 58.4 cm

K-55XR80 : 58.4 cm

質量*2

K-77XR80 :

32.3 kg、34 kg (スタンド含む)

K-65XR80 :

22.3 kg、23.2 kg (スタンド含む)

K-55XR80 :

17.1 kg、18 kg (スタンド含む)

電源

AC 100 V、50/60 Hz

定格出力

USB 1

DC5 V、500 mA MAX

USB 2

DC5 V、900 mA MAX

*2 有効画面サイズおよび最大外形寸法とスタンド幅、質量は、おおよその値です。

別売アクセサリ

壁掛けユニット :

SU-WL850

SU-WL450

カメラ・マイクユニット :

CMU-BC1

- 受信機型サイズ(77V、65V、55V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 主な仕様に関して詳しくは、ソニーのサポートサイトをご覧ください。
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20 A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。
- 年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間(5.1時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

商標、ライセンス

- Dolby, Dolby Vision, Dolby Atmos, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 1992-2022 Dolby Laboratories. All rights reserved.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。
- Manufactured under license from IMAX Corporation. IMAX® is a registered trademark of IMAX Corporation in the United States and/or other countries. For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, DTS:X and the DTS, DTS:X logos are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2024 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- TUXERA is a registered trademark of Tuxera Inc. in the US and other countries.
- Google TV は、本デバイスのソフトウェア機能の名称であり、Google LLCの商標です。Google、YouTubeはGoogle LLCの商標です。
- Huluは、Hulu, LLCの登録商標です。
- FODは株式会社フジテレビジョンの商標登録です。
- U-NEXTは、株式会社U-NEXTの登録商標です。
- ABEMA及びABEMAロゴは株式会社AbemaTVの登録商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- その他の商標はすべて、個々の所有者に帰属します。

 **Dolby**
VISION·ATMOS

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

gracenote
a nielsen company

IMAX®
ENHANCED

dts x™

TUXERA

索引

別紙と記載されている用語については、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

あ行

アフターサービス	34
アプリ	15
アンテナケーブル	別紙
アンテナレベル	14
アンテナをつなぐ	別紙
インターネット	24
運搬	43
音声切換	9
音声検索	25

か行

壁掛けユニット	45
画面表示	8
画面表示切換	8
クイック設定	9、16
ケーブルテレビ	34

さ行

再設置	45
サウンドバーシステム	19
字幕	9
字幕切換	9
スターチャンネル	34
スマートフォン	19
ソフトウェアの更新	28

た行

地上	8
チャンネル設定	46
デモモード	31
テレビセンタースピーカー モードケーブル	20
電子取説	4
電池	別紙

転倒防止用ベルト	47、別紙
問い合わせ先	34、36
時計表示	8

な行

入力切換	9
ネット動画	12
ネットワーク	24

は行

ハードディスク	17
パネルリフレッシュ	10
番組表	8
光デジタル接続ケーブル	19
ピクセルシフト	10
ブラビアリンク	22
分波器	別紙
ヘッドホン	6
ヘルプ	9
ヘルプガイド	4
ホーム	9
ホームメニュー	9、15
保証書	34、裏表紙
本体マイク	5、26

ま行

マイク	8
無線LANルーター	24、25、33
無線接続	24
モデム	24

や行

焼き付きを軽減	10
有線接続	24

ら行

ランプ(LED)	5、29
リモコン	8、32、40、別紙
リモコン受光部	5
ルーター	24、別紙
録画	18
録画リスト	18

アルファベット

ACAS (B-CAS)	34
ACAS番号(モジュールID)	34
ARC	7
BDレコーダー	21
Bluetooth®	19
BS	8
BS4K	8
CS	8
CS4K	8
HDMIケーブル	19、21
HDR	21
LANケーブル	7、24
NHK	34
SSID	24
Wi-Fi	24
WOWOW	34



電子取説(ヘルプガイド)では、この取扱説明書より詳しく、使いかたを説明しています(4ページ)。

保証書

出張修理

品名	有機ELテレビ
型名	K-77XR80 / K-65XR80 / K-55XR80

Sample

保証書は製品に同梱されている取扱説明書に印刷されたものをご使用ください。

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所 お名前	電話	- -
		様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1) お買上げのお店、(2) お近くのソニーサービスステーション、(3) 本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
- (1) 本書のご提示がない場合 (2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4) 使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷 (5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷 (8) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、もしくは製品自体が記録媒体の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T07-2